別紙第２号書式　（昭43蔵令52・全改、昭45蔵令62・昭46蔵令81・平７蔵令５・平15財令48・平17財令22・平20財令86・令２財令73・一部改正）

第一片

返納金納入告知書・領収証書　（国庫金）

（番　号）

右のとおり納付して下さい。

年　月　日

（歳入徴収官等官職氏名）

納付目的

下記の金額を領収しました。

（領収年月日及び領収者名）

（住　所）

納付期限

（氏　名）

（年　度）

（会　計）

（所　管）

返納金戻入店

日本銀行　店

納付場所

返納を受ける支払事務担当職員

（支出官又は出納官吏　官職　氏名）

殿

（部　局　等　名）

（項）

翌年度　月１日以降歳入組入

歳入取扱庁名（番　号）

返納金額

百　十　万　千　百　十　円

◎この返納金納入告知書は、３枚１組となっていますから、３枚とも納付場所に提出して下さい。

第二片

領　収　控　（国庫金）　㊞

（番　号）

納付期限 納付場所	（住　所） （氏　名） 殿	納付目的	下記の金額を領収しました。 （領収年月日及び領収者名）
		（年　度） （会　計）	
		（所　管）	返納金戻入店　日本銀行　店
		返納を受ける支払事務担当職員	（支出官又は出納官吏　官職　氏名）
		（部　局　等　名）	（項）
翌年度　月１日以降歳入組入	歳入取扱庁名（番　号）	返納金額	百　十　万　千　百　十　円

第三片

領　収　済　通　知　書　（国　庫　金）

（番　　号）

あ　て　先

（歳入徴収官等官職氏名並びに所属庁名及び所在地）

（歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名並びに所属庁名及び所在地）

（住　所）

（氏　名）

殿

納付期限

納付場所

納付目的

下記の金額を領収しました。

（領収年月日及び領収者名）

（年　　度）

（会　　計）

（所　　管）

返納金戻入店

日本銀行　　店

返納を受ける支払事務担当職員

（支出官又は出納官吏　官職　氏名）

（部　局　等　名）

（項）

翌年度　月１日以降歳入組入

歳入取扱庁名（番　　号）

返納金額	百	十	万	千	百	十	円

備　考

1　第１号書式備考１、２及び６は、本書式に準用する。

2　各片は左端をのり付けその他の方法により接続するものとする。

3　各片に共通する事項（あらかじめ印刷する事項を除く。）は、複写により記入するものとする。

4　勘定のある特別会計にあつては「（歳入取扱庁名（番号））」を「（歳入取扱庁名（番号））（勘定区分）」と読み替えるものとする。

5　資金前渡官吏の支払金に係る返納金に係る債権にあつては、前渡を受けた資金に係る歳出金の所属年度及び所属会計名を記載し、部局等名及び項の欄に斜線を引き、かつ、納付目的の欄の右下余白に（預託金）（日本銀行に預託金を有しない資金前渡官吏にあつては、（前渡資金））と表示しなければならない。

6　日本銀行に預託金を有しない資金前渡官吏の支払金に係る返納金にあつては、返納金戻入店の欄に斜線を引き、かつ、領収済通知書の片を省略するものとする。